

銀杏が色づく

秋



ぼくとわたしの  
ふるさと  
“レインボータウン”



ゆめまる



冬

竹林から梅がほころぶ

野仏 nobotoke

お稲荷さんと道祖神(東勝寺裏)

“お稲荷さん”の愛称で親しまれる稲荷大明神。五穀豊穡、商売繁盛の神様として知られています。毎年1月14日には“どんど焼き”、2月1日には祠に向けてお酒と鯛をお供えし、小豆飯をあげる「稲荷講」が行われています。境内には双体道祖神が復元安置されています。



赤い帽子とよだれかけのお地藏様(湘南台公園北側)

約300年前(1700年頃)に建てられたと言ひ伝えのあるお地藏様。昔から子どもの守り神として信仰されています。今も地元の“地藏講”の皆さんがお世話をしています。



Q & A question and answer

「湘南台」の地名のいわれは？

昭和41年にできた「湘南台駅」は湘南地方にあり、相模野台地のはずれにある展望の良い新しい住宅地にふさわしい名として命名されました。これを受けてこの地区は市議会の議決により昭和59年から「湘南台」の新町名に変わりました。

地球儀の上空になぜ飛行船が？

表紙の写真は、湘南台文化センター開設直前の写真です。これと時を同じくして開局を迎えたNHK第2衛星放送は、テーマである「宇宙と地球」から、全国的にも珍しい地球儀のある湘南台文化センターをメイン会場に選び、ここでオープニング特番を行いました。世界150カ国に「地球儀」が紹介され、飛行船はその時飛んだ貴重な写真です。

湘南台  
川と緑と文化の散歩道



RAINBOW TOWN  
SHONANDAI

湘南台の魅力

ワタシが暮らす  
湘南台って  
こんなまち!



ゆめみん

“自然”と“文化”が感じられる街

2つの川に挟まれた湘南台。春は桜をはじめとする美しい花景色が川沿いに続きます。22もの公園が点在し、図書館や文化センターなどの施設も充実。現在工事中の今田遊水地や下土棚遊水地も、市民の憩いの場として整備される予定です。

みんなが集まる元気な街

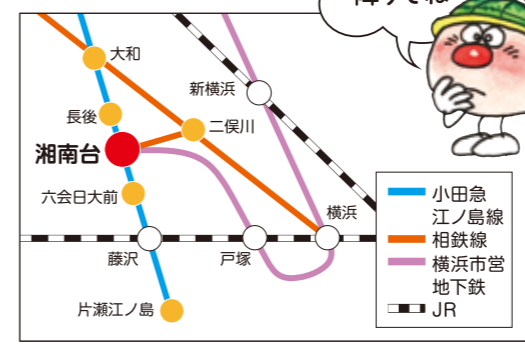
小田急線、相鉄線、横浜市営地下鉄の3線乗り入れと同時に地下改札口となり、横浜や新宿にもアクセスしやすく、快適な居住環境のまちとしても人気です。近隣には多くの大学があり、最寄り駅としてたくさんの若者が行き交います。子育て世帯も多く、子どもたちの笑い声が絶えない元気で活気のあるまちです。

レインボータウンは輝く街

湘南台には他のまちにはないたくさんの魅力があります。まちも人もきらきら輝けるよう、まさに虹のように七色に輝くまちとなるよう願いを込めて私たちは“レインボータウン”と名付けました。

湘南台へのアクセス

「湘南台駅」で降りてね



川と緑と文化の散歩道 湘南台

発行日: 2013年3月27日

発行: 湘南台地域経営会議

事務局: 湘南台市民センター

住所: 藤沢市湘南台1丁目8番地

電話: 0466(45)1600

イラスト/ビッグ錠

編集/株湘南よみうり新聞社

※この印刷物の内容を無断で転載することを禁じます。

桜のトンネル

春



境川サイクリングロード

夏



境川遊水地公園

翡翠が舞う

花だより hanadayori

春(3~5月)

サクラ(引地川・境川沿い)  
フジ(湘南台公園)  
ナノハナ(引地川沿い)  
ユキヤナギ(円行公園)

夏(6~8月)

アジサイ(湘南台中学校外回り)  
アガパンサス(引地川緑道)  
ハギ(東勝寺庭)  
ムクゲ(境川沿い)

秋(9~11月)

コスモス(境川沿い)  
ススキ(引地川沿い)  
ヒガンバナ(引地川沿い)  
オシロイバナ(引地川沿い)

冬(12~2月)

ウメ(円行公園)  
スイセン(湘南台中学校の花壇)  
ハボタン(湘南台公園)  
ツバキ(湘南台公園)

隠れ処 kakuredokoro

遊水地に舞う鷺舞橋

今飯橋から川下をみると、あたかも鷺が舞っているような光景が目に入ります。遊水地では日本で最初の弓状吊り橋です。



懐かしい田園風景

東勝寺方面をサイクリング道路から見渡すと、一面に稲穂がなびき、懐かしいのどかな“田園風景”が広がります。



湘南台近郊から望む富士山

湘南台近くのゆめが丘駅付近から湘南台方面に見る富士山や、慶応大学に抜ける道からの富士山は絶景です。

